

基本施策3, 4 に対する対応状況

資料 1-1

基本施策番号・名称	意見 No.	意見元	意見等	担当課
30 地域特性を生かしたまちづくりの推進	1	特別委員会	まちづくり条例は議会でも「見直ししない」と答弁していたことと矛盾している。記載内容が前期と同じだ。	都市計画課
		対応	<b>修正有</b> ：「～これまでも運用上生じた課題に応じて規則の改正等により対応してきましたが、今後も関係各課と連携のうえ、適正な条例運用に努めていきます。」という記載に改めました。	
	2	特別委員会	30・01 防災の視点も必要ではないか？	都市計画課
		対応	<b>修正無</b> ：基本施策20「災害に強いまちづくりの推進」に記載されておりますので、本稿では記載いたしません。	
	3	特別委員会	30・03 ユニバーサルデザイン化を推進するために町として何をやるのか？具体的な記述が欲しい。	都市計画課
		対応	<b>修正無</b> ：ユニバーサルデザイン化の取り組みとしては、まちづくり条例第33条第1項第6号に「福祉のための都市環境の整備」の項目が設定されています。具体的な内容については、まちづくり条例施行規則第27条第6項において規定されており、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例に定められているとおり、障がい者等に配慮した都市環境の整備を指導しています。	
	4	特別委員会	景観法に基づく手続き条例はあるが、いわゆる理念を含めた景観条例に関する取り組みの記載がないが必要なのは？	都市計画課
		対応	<b>修正無</b> ：景観保全のための条例としては、葉山町まちづくり条例、風致地区条例、各地区計画等が機能しております。景観法上の条例に関しては、景観法施行条例及び施行規則が適正に運用されております。	
	5	特別委員会	地域まちづくり推進協議会のめざそう値が1増えているが、具体的な動きがあるのか？	都市計画課
		対応	<b>修正無</b> ：地域まちづくり推進協議会については、5団体目を認定後、新規団体設立への機会に応じて地域に働きかけております。	
6	特別委員会	「障害者」という表記について「碍」、「害」なのか字の統一をお願いします。	政策課	
	対応	<b>修正有</b> ：「害」の字に統一します。		
31 魅力ある公園の創出	7	特別委員会	31・01 公園については遊具の更新や修繕だけでなく、水道の確保、ベンチ、木陰が重要な要素なので、記載するべきだ。	都市計画課
		対応	<b>修正有</b> ：遊具の整備に特化した記載を削除しました。また、ベンチや木陰などの修景施設については、課題と現状で「特色を生かした公園整備」を検討する中で、地域の要望に応じて整備を推進していくよう改めました。	
	8	特別委員会	災害時の公園利用については単位施策に何も無い。公園は町の防災上重要な財産なので、例えば防災倉庫を置いている公園数を目標にするなどしてはどうか？	都市計画課
	対応	<b>修正無</b> ：防災に関する記載については、基本施策20「災害に強いまちづくりの推進」に記載すべきものと考えております。防災倉庫の公園内への設置については必要最小限に留めるべきと考えておりますが、地域の要請に応じて防災広場として整備することも考えられます。		
32 水辺環境の整備促進	9	特別委員会	32・01で「親水性」という言葉が外れたが、治水性という安全性の観点だけでなく親水性にも取り組んでもらいたい。	道路河川課
		対応	<b>修正有</b> ：親水性に特化した記述ではなく、現状と課題、基本方針、単位施策に「自然環境等に配慮した川づくり」と表現した記述を追加しました。また、協働でできることに、「不法投棄の等の情報連絡の強化」を盛り込みました。	
	10	審議会	維持管理のことにも言及しているので、せっかくだったら、老朽化した護岸にも言及してもらいたい。	道路河川課
	対応	<b>修正無</b> ：河川全体の治水性等を向上させられるよう取り組んでまいりたく、護岸に特化した記述は控えさせていただきます。		
34 安全で快適な町道の確保	11	特別委員会	舗装の劣化している部分も多くある。「二項道路の対策」を研究課題として34-01に記載できないか？町道の拡幅については、救急消防に支障をきたさないように強く要望する。	都市計画課 道路河川課
		対応	<b>修正無</b> ：「二項道路の対策」は、狹隘道路整備として、都市計画課が研究、検討しているところです。34-01への記述は控えさせていただきます。	
	12	特別委員会	財政が厳しくなると道路整備にしわ寄せがくる可能性がある。しわ寄せの歯止めがかかるように、何メートルの整備をするなどの具体的な計画を示したほうが良い。	道路河川課
		対応	<b>修正無</b> ：道路整備の距離などの指標の設定については、地域の合意形成や用地取得など難しい問題があるため、記述は控えさせていただきます。	
	13	特別委員会	都市計画道路の整備距離のような目標設定の整合を図った方が良い。現状と課題にどこを整備すべきか分かるような記述があった方が良い。	道路河川課
		対応	<b>修正無</b> ：道路整備の距離などの指標の設定については、地域の合意形成や用地取得など難しい問題があるため、記述は控えさせていただきます。厳しい財政状況の中、必要最小限の予算を確保しながら道路環境の維持・整備に取り組んでおります。そのため、都市計画道路のような数値で増減を目指す指標を提示することが難しいと考えます。	
	14	審議会	町道の安全確保の観点で、街路灯について「県とも連携」と書いてもよいのではないかと？	道路河川課
		対応	<b>修正無</b> ：交通安全施設の一部に含まれるものとして考えております。街路灯に特化した記述は控えさせていただきます。また、県が設置する道路照明灯は、車両が安全かつ円滑に走行できるようにするためのものであり、町の街路灯設置方針とは考え方が異なるため、記載は控えさせていただきます。	
15	審議会	県道も含めて、町道、県道の安全性の向上を要望したらどうか。葉山町の人を使う道について、その管理責任者について少なくとも安全性の要望をするという項目があった方が良いのではないかと？	道路河川課	
	対応	<b>修正無</b> ：町の計画のため、県への要望事項を記述することは、控えさせていただきます。国・県道の安全性の向上については、機会をとらえて要望してまいります。		

		16	審議会	町に連絡しても「そこは町道でない」で終わってしまう。住んでいる者にとっては、それが町道でも県道でも町として受け止めていただく、その意見を更に上にあげていただくということが、安心して住めるということだと思う。「道路河川課に連絡する」ということを町民に働きかけるという裏には、それに伴って行政側は「上に挙げる」といったことが協働につながるのではないか。	道路河川課
			対応	<b>修正無</b> ：町民が県へ直接通報していただく場合と比べて、町が町民に代わって県へ連絡することは、情報伝達時の正確性やスピードが劣ってしまう事があります。ただし、希望があれば代わりに通報・要望を間違いのないよう伝達しております。総合計画に記述する内容ではないと思われることから、記述は控えさせていただきます。	
35	適切な橋りょうの維持管理	17	特別委員会	橋りょうの計画について、もう少し具体的に書いて欲しい。財政的な理由で達成されない場合もあるため、結果のみでは良し悪しが判断できない。	道路河川課
			対応	<b>修正無</b> ：個別計画の「葉山町橋りょう長寿命化修繕計画（第二期）」において具体的な計画を策定しているため、基本計画での記述は控えさせていただきます。	
36	公共交通の環境整備	18	特別委員会	グリーンスローモビリティなどの単語はイメージがわからない。	政策課
			対応	<b>修正有</b> ：グリーンスローモビリティ、スマートモビリティという文言及び注釈を削除しました。	
		19	特別委員会	協働でできることに記載の「団地奥地」という単語はおかしい。	政策課
			対応	<b>修正有</b> ：「団地奥地」という文言を削除しました。	
		20	特別委員会	葉山ではバスベイが重要だ	政策課
			対応	<b>修正有</b> ：バスベイの有効性は認識しており、機会を捉えて県等と連携し取り組みを進めてまいります。現状と課題に追記します。	
		21	審議会	「グリーンスローモビリティ」などもそうであるが、注書きがあってもわからない。むしろ、「利便性の向上させる手段として新たな公共交通機関の導入について地域住民と検討します」と言ってくれた方が幅広くできることをちゃんと検討してくれると感じる。	政策課
			対応	<b>修正有</b> ：グリーンスローモビリティ及び注釈を削除しました。	
		22	審議会	現状と課題では「交通計画を作らなくてはいけない」と危機的状況を書いてあるのに対して、施策として弱いと感じる。ワースト2の状況とか課題意識のもと、個別施策として注力してもらいたい。	政策課
			対応	<b>修正無</b> ：ご指摘のとおり、個別施策の中で交通計画策定に向け注力してまいります。	
		23	審議会	ニーズだけの問題ではなく、サービスの供給体制として、バスの運転手が確保できないという話は、以前からでている。そういう事も含めて文章を現状と課題に入れ込み、それを受けてバス路線の充実の箇所にも文言を足し、単位施策36-03で受けて、新たな方法も考える、という課題意識を現状と課題に強く入れたらどうか。	政策課
			対応	<b>修正無</b> ：厳しい現状を踏まえ新たな取り組みを進めたいと考えており、ご意見のとおりに記載しております。	
24	審議会	ダイヤの見直し改定があり、朝6時～9時の逗子駅行きのバス便数は5便減便となった。増発をお願いするという状況ではなく、せめて減便をなくしてもらいたいという危機的状況だ。記載内容をもう少し改める必要があると思う。	政策課		
	対応	<b>修正有</b> ：単位施策36-01の中に、運行本数の「維持」という文言を追記しました。			
37	農業・水産業・商業の振興と連携の促進	25	審議会	「平均魚価」は分かりづらい。市場の相場をどう吊り上げるか、付加価値の高いイセエビやアワビを採るのか、わかりづらい表現になっています。応援しようというメッセージはわかるが、指標として、平均魚価は葉山町が頑張っても変わらないのではという疑問がある。「漁業従事者の数」だったりが、「水揚げ量の増大」等、わかりやすい方が良いのではないか。	産業振興課
			対応	<b>修正無</b> ：水産資源や人口の減少を考えると、漁業者数や水揚げ量など総量的な指標を載せることは難しい状況です。漁業者一人ひとりの生活を守る事と資源の枯渇を防ぐ事を両輪で考え、限られた資源を有効に活用するという視点で魚価が相応しいと判断しました。	
		26	審議会	新規就農者数の「めざそう値」について、既に、何か対策をしないと目標値には結びつかない。単位施策として、ただの広報周知位で、バランスに欠けているのではないか。	産業振興課
			対応	<b>修正無</b> ：以前まで本町において、親元農家以外で就農するためには、神奈川県立かながわ農業アカデミーを修了すること、又はかながわ農業サポーターとして認定された者としていましたが、令和2年1月23日に葉山町新規就農者認定に関する要綱を施行し、農家等において1年以上農業経験の実績を積んだ者を就農者として認め、担い手の確保を図っている状況です。	
		27	審議会	単位施策37-02「つくり育てる漁業の振興」について、「浜の活力再生プラン」を策定すると特定財源が付くので、もっと具体的に踏み込んで全面改正し、本プランの検討を進めてはどうか。	産業振興課
			対応	<b>修正無</b> ：今回、魚価を指標としたのは、魚価の上昇を目的とする「浜の活力再生プラン」に将来的に活かせる事も大きな理由です。将来的としているのは、「浜の活力再生プラン」自体について、神奈川県や葉山町漁業協同組合と調整を図る中で、魚価の上昇以外にも経費削減策を盛り込む必要があるなど策定までに時間がかかる一方、補助メニューとして漁協が望むものが必ずしも認められるとは限らないなどの問題があるためです。今後も適切な計画策定に向けて引き続き検討を進めてまいります。	
	28	審議会	指標について、2100円の話は水産業の総売上の額が出るのならそれを使うのも手であり、漁業会員一人あたりの売上や額等の数字の方が、説明としては楽なのではないでしょうか。主要7種は何かを聞きたくするしわかりにくいので、皆がわかりやすい指標を探すのが良いと思う。	産業振興課	
			<b>修正無</b> ：漁業者の生活水準の向上という意味では、漁師の所得の上昇という選択肢も検討しましたが、情報提供いただく漁協との調整の中で、個人情報問題等もあり断念しました。		

38	観光の振興	29	特別委員会	現状と課題の4点目、前回は「～問題の解消が急がれています」とあるのに、修正がない。同じこと書かないでほしい。	産業振興課
		対応	<b>修正無</b> ：観光客のマナー、ゴミの不法投棄、交通渋滞については、観光客に起因する最大の問題として引き続き対処しなければいけないとの認識が前期計画と状況が変わっていません。そのため改めて変える必要がないと判断しました。		
		30	特別委員会	観光協会のあり方も触れる必要があるのではないか？ 役場内だと土日の対応ができないので葉山ステーションでやってはどうか？	産業振興課
		対応	<b>修正無</b> ：観光協会に関する表現としては、「協働でできること」中に他の関係団体と同様に協力していく旨を記載しています。 観光協会については、観光振興の担い手としての在り方について今後検討してまいります。		
		31	特別委員会	全体的にカタカナ英語ではなく、日本語を使ってほしい。	産業振興課
		対応	<b>修正無</b> ：文中に使われている「インフルエンサー」については、新しい表現でこれに代わる適切な語句がないため、従来通り注釈で対応したいと考えております。 また、「プロモーション」についても、日本語訳をすれば、“促進”という意味になりますが、PRとしての意味をもつ「プロモーション」の方がより適切であると考えます。		
		32	特別委員会	38-01 葉山らしいライフスタイルとあるが、葉山らしさとは何か、人によって定義がちがうのでは？	産業振興課
		対応	<b>修正無</b> ：ここでは、施策分野の将来像に記載されている「ゆったりした時間が流れるような観光スタイル」や現状と課題に記載の「美しい街並みや豊かな自然」という自然と一体となったゆったりしたライフスタイルもって葉山らしいとしています。		
		33	特別委員会	ライフスタイルに重点を置くのか、観光に主眼を置くのかが見えない。	産業振興課
		対応	<b>修正無</b> ：住民のライフスタイルと観光のいずれかを選択するのではなく、住民のライフスタイル自体を観光資源として提案することが、葉山としての観光だと考えます。 一度に大勢の方が訪れるような観光では、騒音や、ゴミの不法投棄などの葉山の住環境、自然環境に対する負荷が高い。幸い、葉山を訪れる方の目的としても、街中の小径やおしゃれなお店に立ち寄るなど、普段住民が親しんでいる雰囲気と同じように享受しているところがありますので、この状況を捉えて「葉山らしいライフスタイル」を観光の目的とさせていただきます。		
34	特別委員会	前回記載されていたマスメディアの記載は入っていて良いと思う。	産業振興課		
対応	<b>修正無</b> ：幸い葉山については、多くのメディアに取り上げられており、今後も必要に応じて、活用していくが、“協働でできること”という項目には馴染まない判断して削除しました。				
35	審議会	町を訪れる方が、町民目線で葉山を感じられるようにすることで、ごみを捨てていけないようになるという話があったが、実際には住んでいればごみを捨てる場がありそこに適切に捨てるという活動になる。町民目線になってくれたからといってこのような問題が解決するのか疑問だ。不法投棄や騒音の施策の内容としては薄いのではないか。	産業振興課		
対応	<b>修正無</b> ：普段、町民と接している中で、葉山町の住民意識として、当然、不法投棄ゴミの回収やパトロールなどを行い、マナー違反に対する抑止や対処はしていますが、総合計画においては、目指すべき住民と観光客の意識の共有という理念を示すことが最も相応しいと考えて記載しました。				
39	広報・広聴活動の充実	36	特別委員会	指標のアクセス件数の数字が大きすぎてよくわからない。月平均にして数字をちいさくした方が伝わりやすいのでは？	政策課
		対応	<b>修正有</b> ：ご指摘のとおり、月平均に改めました。		
		37	特別委員会	39-03パブコメをかける基準が鎌倉、逗子と比べると少ない。パブコメを活用することもひとつの方法ではないか？	政策課
		対応	<b>修正無</b> ：パブコメを活用することの重要性は認識しており、引き続きパブコメは実施してまいります。が、物言わぬ多数派やSNSを多用する若い世代からもご意見もいただきたいので、記載のとおりとしたいと考えております。		
		38	審議会	「サイレントマジョリティ」は「物言わぬ多数派」、「パブリックコメント」も「町民からの意見募集」など日本語を当てはめたほうがいい。	政策課
対応	<b>修正有</b> ：ご指摘のとおり、修正しました。				
39	審議会	「タイムリー」もわかりにくい。	政策課		
対応	<b>修正有</b> ：ご指摘のとおり、「適時」という表現に修正しました。				
40	協働によるまちづくりの推進	40	特別委員会	40-03の中に民間の空き家について盛り込んでみては？	政策課
		対応	<b>修正有</b> ：単位施策40-03の文末に「また、併せて空き家を活用した拠点づくりの取り組みも進めます。」		
41	地域コミュニティの活性化	41	特別委員会	前回と記載内容が変わってない。もっと展開してほしい。	政策課
		対応	<b>修正有</b> ：現状と課題に文章を加筆しました。		
42	計画的な行政の推進	42	特別委員会	町が引っ張って欲しい。支援までいなくても、町内会を大切にしている記述を。	政策課
		対応	<b>修正無</b> ：文章にはしていませんが、地域での町内（自治）会が果たす役割や重要性など十分に認識しております。		
42	計画的な行政の推進	43	特別委員会	行政運営に満足していない人の割合が増えているのに、施策は変えてなくてよいのか？	政策課
		対応	<b>修正無</b> ：単位施策にあるPDCAサイクルは、行政の根幹部分であるため、まずはこの施策に注力していきたいと考えます。		

		44	特別委員会	基本施策4 2～4 4 はひとつにまとめて良いのでは？	政策課
			対応	<b>修正無</b> ：それぞれ視点の違う基本施策なので、現状ではまとめる必要はないと考えておりますが、第5次総合計画策定の際の検討事項とさせていただきます。	
43	行政組織の充実	45	特別委員会	緊急事態への対応を盛り込んだ方がよい。	政策課
			対応	<b>修正有</b> ：単位施策43-01の文末を「緊急事態時にも横断的な連携の取れる組織運営を進めます」という記載に改めます。	
44	人材育成・人材管理の充実	46	特別委員会	緊急事態に迅速に対応できる体制づくりも大切。人事評価制度はどうなっているか？44-02に盛り込んで確立した方がよい。	総務課
			対応	<b>修正有</b> ：人事評価については、単位施策に追記しました。「緊急事態に迅速に対応できる体制づくりについて」は、人材育成・人材管理の取り組みではないと考えるため、記載は控えさせていただきます。	
		47	審議会	基本施策44「人材育成・人材管理の充実」協働のできることで、「町内で活躍している各種団体等の有識者から専門知識を取り入れ、職員の想像力を高め～」とあるが「資質能力の向上」で良いのではないか。	総務課
			対応	<b>修正有</b> ：「町内で活躍している各種団体等の有識者から専門知識を取り入れ、事業運営において効果的に活かすことができるよう協働で職員の人材育成を図ります」という表現に改めました。	
		48	審議会	何故「町中で活躍している」に限定しているのか、活躍していない人でも、町民の関わりの中でもむしろ苦しんでいる人や困っている人に話を聞きに行くことも資質の向上につながるのではないか。	総務課
			対応	<b>修正無</b> ：「町民の関わりの中で苦しんでいる人や困っている人に話を聞きに行くこと」は、業務としてやるべきことと考えます。人材育成としてできることは、それらも含め有識者から専門知識を取り入れ、業務に活かすことだと考えます。	
		49	審議会	町の職員が、町民に近い存在で、町民の生の声を聞くような機会をきちんと確保するよう努力していますといったような意味を含めるべきだ。	総務課 政策課
			対応	<b>修正無</b> ：人材育成・人材管理の取り組みではなく、政策的な取り組みのため、ここに記載する内容ではないと考えます。町民の声を聞く機会については、単位施策39「広報・広聴活動の充実」で対応したいと考えます。	
50	審議会	「職員の能力」と「職員の資質」と書いている場合があります。両方「資質能力」としていくほうが良いように思うが、使い分けしているのであれば、もう少し意識して書かれたほうが良いと感じます。	総務課		
	対応	<b>修正有</b> ：「職員の有している可能性・能力を最大限に引き出し、組織力の強化を図るため～」という表現に修正しました。			
45	健全な財政運営	51	審議会	まちづくり指標「財政調整基金の残高」について、7.6億円が5億円以上にする理由はどのようなものか。5億は有事のために取っておくということなのか、中期財政見通しだと計画的財政運営に準じて、など町の考え方を入れた方がよいのではないか。私は、このコロナ禍を経て、不測の事態のために財政調整基金は一定には取っておいた方がよいと思う。	財政課
			対応	<b>修正無</b> ：財政調整基金は災害発生時の対応や財源不足のときのための基金です。残高の目安については、一般的には標準財政規模(*)の5～10%程度が目安といわれています。めざそう値に掲げている「5億円」は7～8%にあたり、財政運営のいざというときに確保しておきたい額として「葉山町中期財政計画」の財政運営方針上の目標値として設定している数値となっています。	
		52	審議会	緊急時には、例え町債を発行したとしても、必要な対応をしなくては、町民の命と暮らしを守ることにはならない。逆に言えば、必要な時に財政規律を超えて対応することがありうるが、「原則として計画的に行政を進めるにはこれだけ必要です」ということがニュアンスとして書いてあった方がよいと思う。計画の中では「通常時ではこのように考えたい」とどこか記載しておいた方が皆さん納得すると思う。	財政課
	対応	<b>修正有</b> ：ご意見を踏まえ、「現状と課題」3項目の文末に“その様な状況下で、大規模災害の発生やウイルス等による感染症拡大等により不測の事態が発生した場合、予算の見直しや計画を延伸し、財政支出の見直しを図る必要があります。”という文言を加筆しました。 また、加筆したことを受けて、次ページの基本方針の記述も、非常時の対応も含んだ表現とするため、冒頭の“想定される”を削除しました。			
46	公共施設の有効かつ適正な管理	53	特別委員会	FM会議の意味がわかるようにしてほしい。	公共施設課
			対応	<b>修正有</b> ：「庁内で開催する公共施設に関する会議」等、分かりやすい言葉に改めます。	
		54	特別委員会	基本目標1 0、1 1が重要になってくる。住民との合意形成を図るためのプロセスを確立すること必要がある。	公共施設課
	対応	<b>修正有</b> ：単位施策46-02に「将来の公共施設のあり方については、施設利用者の納得度を得るため、町民との合意形成プロセス方法を研究し、実践します。」という文書を追記しました。			
47	県・他自治体との連携	55	特別委員会	再掲載でも良いので、災害時の県、他自治体地の協力についても記載して欲しい。	政策課
			対応	<b>修正有</b> ：協働のできることに加筆しました。	
		56	審議会	もう少し県や国に対して働きかけるような事柄が、単位施策の中に、要望活動といったようなことでも構わないので、入っていた方がよいのではないか。基本的に個々の基本施策には絶対に入れるべきだが、個別にも自分達でどうにもならないところには個別にも入れて良いと思う。くどくでも良く、読んだ人から見れば、きちんと町として県や国に必要なことは言うてくれるとメッセージとして伝わるうえに、それぞれ課の職員には「きちんと要望を上げる」と言うことも、自分達の仕事であると位置づけ、伝えることにもつながる。	政策課
	対応	<b>修正無</b> ：個別に盛り込みたいのですが、個所数が相当多くなることが予想され、余白を圧迫する可能性があります。47-01にまとめて記載する形で対応したいと考えます。			